

# 「東日本大震災」対策 news NO.40

2011年4月29日(金)

生協労連震災特設 URL <http://cwu.jp/action-cms/shuto/>

全国生協労働組合連合会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-1-9

TEL 03-3408-0067 <http://cwu.jp/>

FAX03-3408-8955 QYG03057@nifty.ne.jp

## 東北地連 4月23日に単組代表者会議を開催

### 震災の被災状況と労組のこの間のとりくみを交流 生協労連への要望も出される

4月23日、東北地連は単組代表者会議を仙台で開催、2011年春闘のとりくみとともに、3月11日に起きた東日本大震災での被災状況とこの間の労働組合としてのとりくみ、そして当面の課題について議論しました。生協労連からは桑田委員長が参加しました。

各単組からの報告・討論のなかでは、①なかまが「被災地に生協あり」「全国の生協が温かい支援に全力を上げている」ことを実感し、これを大きな確信として、がんばっている姿、②一方で、被災の状況は余震もあって、まだまだ変化していること、③福島原発事故による風評被害はかなり深刻なこと、④沿岸部では、生協組合員そのものがいなくなり、脱退手続きが間に合わない事態も生まれ、一方で供給高が4割減となり、雇用にも大きな影響が生まれていることなどが出されました。

とりわけ、震災による休業補償では、東北大学での「補償なし」については、地連からの申し入れなどもあり、何とか解決できる見込みとなりました。また、労組では職員向けの「生活支援相談会」を開催し、国など含めた支援制度の紹介などをおこなってきていますが、被災者のなかにはそうした制度そのものを知らない人が多数いることから、対策が必要との意見も出されました。

会議では、6月の地連執行委員会に連動して、サンネット事業連合との懇談をおこなうことを確認しました。また、生協労連への要望として①被災者の生活が深刻になっていることから、支援金についてはできるだけ支給してほしい、②原発問題と放射能汚染問題の学習会へのとりくみや、学習資材の配布などを検討してほしいなどが出されました。

### 一番つらいのは生産者 サンネットが6月から福島県産の野菜の販売を決める

#### ◆ 生協の共同購入が「頑張ろうふくしま」を提唱 ◆



津波の影響で、長期間営業できなかった石巻大橋店は先週から店頭販売を開始。開店前には長蛇の列ができました。

サンネット共同購入商品部は安全が確認された福島県産の野菜を6月に販売することを決めました。今一番つらいのは生産者です。少しでも応援したいものです。風評被害などに惑わされず、商品の安全性の根拠を生協が示し、購入の判断は組合員がすれば良いのです。共同購入商品部



の英断は見事です。私達も冷静に対応しましょう。

(みやぎ生協大震災災害対策ニュースNo.24 より)

## ★「放射能の人体への影響」について学ぶ ★

だて共同センターの学習講演会に 200 人が参加

福島県労連

大震災から1カ月以上過ぎ、原発事故がどうなるか、県民は毎日ハラハラしながら見守っています。特に放射線量がどうなのかが一番心配です。小さい子どもを持つ親、保育・教育関係者は、マスコミに発表される各地の「〇〇マイクロ・シーベルト」の数値に敏感になっています。特に政府や東電、マスコミが本当のことを発表していないのではないかと疑心暗鬼になっています。多くの人は、放射能の正確な情報を知らされておらず、本当のことを知りたいと思っています。

4月13日に結成したばかりの「だて復興共同センター」では、4月24日、伊達福祉センターで「放射能の人体影響」と題する学習講演会を開催しました。会場には予想をはるかに超える200人の方で超満員になりました。講師は長年広島で放射能治療にあたってこられた斉藤紀医師（福島医療生協・わたり病院）にお願いしました。先生は過日のNHKの特集番組にも登場するなどの確なお話が好評で、連日引っ張りだこです。前日は川俣町の山木屋で講演し、この日も伊達で話が終わったらすぐ飯舘村で講演するという超過密スケジュールです。

### ●放射能の危険と現状を噛み砕いて講演—多くの質問と討論も

斉藤先生は、私たちのような放射能について何も知らない人にわかるように話されました。放射線とは、シーベルト、ミリシーベルト、マイクロシーベルトなどの単位と、それが人体にどのように影響を与えるのか、今の数値ではほとんど人体に影響はないが、リスクがないとは言えないことなどを話されました。

参加者からは「農作業への影響について」、中学生の子をもつ母親からは「文科省が3.8マイクロシーベルト以上の県内13校の屋外活動を制限したが、その他の学校での対応について」質問や意見が出され、中学教師からは学校現場での取り組みが話されるなど有意義な講演会となりました。

だて復興共同センターは今後、被災者支援活動をはじめ、相談活動や自治体への要請行動などを計画しています。（全労連メールニュースより）

### 全労連が政府の第1次補正予算にたいし要望書提出

政府は4月22日、東日本大震災からの早期復旧を目的にした約4兆円規模の2011年度第1次補正予算を決定しました。この補正予算にたいし、全労連は、①補正予算の規模は大震災被害の甚大さに比して不十分であること、②既定経費の組み替えが社会保障関係費に集中していることは問題であること、③すべての財産を失った津波被災者、原発被害者への直接支援策が不十分であること、④「復興税」などの増税論先行の復旧、復興論議には反対であること、を柱とした要望書を菅首相宛に提出しました。

この第1次補正予算はこの連休中にも成立する見込みとなっていますが、全労連は本格的な復興予算となる第2次補正予算にたいし、本格的なとりくみをすすめていく予定です。当面は、「被災者本位の生活再建と地域社会再生」署名と「原発事故の早期解決と被害署名」を提起し、被災者と国民の声を国会に届けていきます。

### コープかごしま労組が ボランティアの呼びかけ

### 東日本大震災ボランティア募集

生協労連では、全国災対連の呼びかけに応じて、被災地で作業をしていただくボランティアを募集しています。コープかごしま労組からも2名の枠でボランティアを派遣します。

派遣先は岩手県大船渡市か宮城県石巻市になります。

期間は5月中旬以降の1週間（行き、帰り含む。現地で4日間以上の活動）となります。

まずは、労組室まで  
お問い合わせください。  
詳しい資料を送ります。